

# グローバル PlusONE 副専攻プログラム 履修案内

(2023 年度)

**【重要なお知らせ】**

1. 当プログラムは2024年度をもって終了します。
2. 2022年度以降入学者の各種申請はできません。



## 目 次

1	グローバル PlusONE 副専攻プログラムとは	p 2
2	履修方法	
2.1	「科目群 A」について	p 4
2.2	「科目群 A」 「4. 単位が出ない海外での学修」について	p 5
2.3	「科目群 B、C、D」の履修方法	p 6
2.4	「科目群 E」科目（グローバルプロジェクト科目）について	p 7
3	修了証書申請方法	p 8
4	問い合わせ先	p 9
	参考資料 1. 2023 年度開講科目一覧	p 10
	参考資料 2. 申請書類	
	様式① 大学院生用履修申請書	p 1
	様式② 「科目群 A」単位修得計画書	p 2
	様式③ 「科目群 A」単位認定申請書	p 3
	様式④ 「科目群 E」単位修得計画書	p 4
	様式⑤ 「科目群 E」単位認定申請書	p 5
	様式⑥ 修了証書申請書	p 6

# 1. グローバル PlusONE 副専攻プログラムとは

## □ 目的

グローバル PlusONE 副専攻プログラムは、自国文化の理解とアイデンティティに立脚しながら、世界をフィールドに活躍できる外国語能力、情報発信能力、異文化間協働能力に優れたグローバル人材の育成を目的とするプログラムです。

## □ 対象学生

本学の正規学生全員（学部生・大学院生）を対象としています。特に海外の協定校への交換留学やショート・ビジット（SV）などの海外留学を希望する学生や、留学から帰国した学生の履修を奨励しています。また、学部卒業後に本学大学院に進学する場合は、学部と大学院にまたがって学習計画を立てて科目を履修することが可能です。

## □ 開講科目

外国人留学生を主な対象とした「YOKOHAMA Creative-City Studies (YCCS)特別プログラム」向けの英語による授業科目（全学教育科目や学部教育科目）を中心に開講されています。開講科目は年度ごとに異なります。今年度の情報については p 10 の参考資料 1 を参照してください。

## □ (旧) コース内容と修了要件

### (2020 年春学期以前に科目群 E 科目を修得している場合)

このプログラムは、3つのコースにより構成されています。【表0】に定められた単位を修得した学生は、PlusONE オフィスに申請することにより、該当するコースの修了証書が発行されるとともに、成績証明書に副専攻名と修了コース名が記載されます。

【表0】コース別修了要件

コース名	科目群 A (海外実習・国際経験科目)	科目群 B (ICT & ビジネススキル科目)	科目群 C (コミュニケーション & コラボレーション科目)	科目群 D (学部提供グローバル科目)	科目群 E (リーダーシップ & ファシリテーション科目)	合計単位数
グローバル・アシスタント	「科目群 A～D」の2つ以上の科目群からそれぞれ2科目以上、合計8単位以上				1科目以上	10単位以上
グローバル・アソシエイト	「科目群 A～D」の3つ以上の科目群からそれぞれ2科目以上、合計12単位以上				1科目以上	14単位以上
グローバル・リーダー & ファシリテーター	「科目群 A～D」の4つの科目群からそれぞれ2科目以上、合計16単位以上				2科目以上	20単位以上

- (新) コース内容と修了要件  
 (2020 年春学期以降に「科目群 E」科目を修得する場合)

【表 1】コース別修了要件

コース名	<b>グローバル・コラボレーター (GC) コース</b>	
概要	多様な文化的背景・専門性をもつメンバーからなるプロジェクトの中で、共働しながらチームに貢献できるスキルを涵養するコース	
科目群 A (海外実習・国際経験科目)	科目群 A～D の 2 つ以上の科目群からそれぞれ 2 科目以上、合計 8 単位以上	
科目群 B (ICT&ビジネススキル科目)		
科目群 C (コミュニケーション&コラボレーション科目)		
科目群 D (学部提供グローバル科目)		
科目群 E (グローバルプロジェクト科目)	「グローバル・コラボレーション I / II / III / IV」 1 単位以上	
	合計単位数	9 単位
コース名	<b>グローバル・アソシエイト (GA) コース</b>	
概要	多様な文化的背景・専門性をもつメンバーからなるプロジェクトの中で、リーダーを補佐し、メンバーの活動を調整しながらチームに貢献できるスキルを涵養するコース	
科目群 A (海外実習・国際経験科目)	科目群 A～D の 3 つ以上の科目群からそれぞれ 2 科目以上、合計 12 単位以上	
科目群 B (ICT&ビジネススキル科目)		
科目群 C (コミュニケーション&コラボレーション科目)		
科目群 D (学部提供グローバル科目)		
科目群 E (グローバルプロジェクト科目)	「グローバル・コラボレーション I / II / III / IV」 1 単位以上、かつ「グローバル・アソシエイト I / II / III / IV」 1 単位以上	
	合計単位数	14 単位以上
コース名	<b>グローバル・リーダー (GL) コース</b>	
概要	グローバル・リーダー(GL)は、ビジョンと倫理観に基づき、多様な文化的背景・専門性をもつメンバーからなるプロジェクトを牽引できるスキルを涵養するコース	
科目群 A (海外実習・国際経験科目)	科目群 A～D の 4 つ以上の科目群からそれぞれ 2 科目以上、合計 16 単位以上	
科目群 B (ICT&ビジネススキル科目)		
科目群 C (コミュニケーション&コラボレーション科目)		
科目群 D (学部提供グローバル科目)		
科目群 E (グローバルプロジェクト科目)	「グローバル・アソシエイト I / II / III / IV」 1 単位以上、かつ「グローバル・リーダーシップ I / II / III / IV」 1 単位以上	
	合計単位数	18 単位以上

## 2. 履修方法

### 2.1 「科目群A」について

「科目群A」は、主に海外の大学や大学院での学修が対象となります。対象となる科目は【表2】のとおりです。

【表2】「科目群A」対象科目一覧

科目の種類	科目の取り扱い	PlusONEオフィスへの提出が必要な書類
<b>1. 所属学部・大学院で認定された科目：</b> 海外の大学・大学院で単位を修得した科目のうち、所属学部・大学院で単位が認定されたもの	・「科目群A」の科目としてそのまま利用できる。	・様式③「科目群A申請書」 ・所属学部・大学院が発行する単位認定書の写し
<b>2. 所属学部・大学院が開講する科目：</b> 本学の学部・大学院が提供する科目のうち、SV等、海外での学修を含むもの	・「科目群A」の科目としてそのまま利用できる。	・様式③「科目群A申請書」 ・海外での学修を証明できる資料
<b>3. 海外で単位を修得した科目：</b> 海外の大学・大学院で単位を修得した科目のうち、所属学部・大学院で単位が認定されないもの	・PlusONE 副専攻プログラム委員会内で審査を行う。 ・審査で合格した場合は、「科目群A」の科目となる。	・様式③「科目群A申請書」 ・単位修得証明書 ・学修内容、学修時間が分かる資料
<b>4. 単位が出ない海外での学修：</b> その他、海外での学修で単位が出ないもののうち、学修内容や学修時間が証明できるもの	・PlusONE 副専攻プログラム委員会内で審査を行う。 ・審査で合格した場合は、科目群A（【表3】の該当する科目）となる。	<渡航前> ・様式②「単位修得計画書」 <渡航後> ・様式③「科目群A申請書」 ・学修内容、学修時間が分かる資料

「科目群A」の科目を取得するためには、

- 「1. 所属学部・大学院で認定された科目」および「2. 所属学部・大学院が開講する科目」については、単位が認定された後または単位を修得した後に、必要書類を揃えて PlusONE オフィスに提出してください。
- 「3. 海外で単位を修得した科目」および「4. 単位が出ない海外での学修」については、PlusONE 副専攻プログラム委員会内で審査を行います。所定の様式とともに「学修内容、学修時間が分かる資料」として、以下の資料を PlusONE オフィスに提出してください。
  - [渡航前]活動概要・実施計画、実施体制がわかるパンフレットなど。（4のみ）
  - [帰国後]現地活動報告、成果物・記録写真、指導教員・担当教員の評価や評価報告など。（3、4とも）

## 2.2 「科目群A」 「4. 単位が出ない海外での学修」について

【表3】のとおり全学教育/教養教育科目の単位となります。（ただし、この単位が卒業単位になるか増加単位になるかは、学部・大学院により異なりますので、所属学部・大学院の学務担当係で確認してください。）

【表3】 「4. 単位が出ない海外での学修」で認定される「科目群A」の科目と単位

科目名		単位数	具体的な内容、必要時間、その他
1)	(在学中1回目に適用) <b>Practice in International Diplomacy I A</b> (民間外交実習 I A)	1 単位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海外で、協定大学の学生との交流、語学研修、異文化体験、サマープログラム等を30時間以上行った場合。</li> <li>・成績評価は「合格」となる。</li> </ul>
	(在学中2回目に適用) <b>Practice in International Diplomacy I B</b> (民間外交実習 I B)	1 単位	
2)	(在学中1回目に適用) <b>Practice in International Diplomacy II A</b> (民間外交実習 II A)	2 単位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海外で、協定大学の学生との交流、語学研修、異文化体験、サマープログラム等を60時間以上行った場合。</li> <li>・成績表は「合格」となる</li> </ul>
	(在学中2回目に適用) <b>Practice in International Diplomacy II B</b> (民間外交実習 II B)	2 単位	
3)	<b>Transcultural Practice in Overseas I</b> (海外異文化実習 I)	1 単位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交換留学で半期程度海外に学修に行った場合に、留学先で単位認定された学修以外の学修が単位の対象となる。</li> <li>・成績評価は「合格」となる。</li> </ul>
4)	<b>Transcultural Practice in Overseas II</b> (海外異文化実習 II)	2 単位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交換留学で1年程度海外に学修に行った場合に、留学先で単位認定された学修以外の学修が単位の対象となる。</li> <li>・成績評価は「合格」となる。</li> </ul>
5)	<b>International Volunteer I</b> (国際ボランティア I)	1 単位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海外の国際機関等で30時間以上のボランティア活動を行う場合。</li> <li>・成績評価は「合格」となる。</li> <li>・国内の国際機関等で活動を行う場合は別途要相談。</li> </ul>
6)	<b>International Volunteer II</b> (国際ボランティア II)	2 単位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海外の国際機関等で60時間以上のボランティア活動を行う場合。</li> <li>・国内の国際機関等で活動を行う場合は別途要相談。</li> </ul>

#### □海外での学修について

海外で学修するにあたっては、必ず、事前に国際戦略推進機構が実施する「海外安全講習」を受けて十分な知識を身に付けた上で、プログラム担当者・引率者の指示に従い、参加してください。

「4. 単位が出ない海外での学修」の単位認定については、事前に「海外安全講習」を受けていることが条件になりますのでご注意ください。

#### □海外での学修に係るその他の注意事項

- 海外で学修するにあたっては、以下の点に注意してください。
- 助言教員・指導教員と日程や内容について十分に相談した上、「海外渡航届」を所属の学務担当係に提出してください。
- 海外での学修については、在学期間には含まれるもの、含まれないものがあります。在学期間に含まれる場合でも、卒業修得単位数や卒業論文作成、就職活動との兼ね合い等、十分に検討してください。
- 交換留学や「トビタテ留学 J A P A N」については、学務・国際戦略部グローバル推進課留学交流係（学生センター 2F）で様々な相談を受け付けます。また、海外留学のための各種資料もありますので利用してください。
- グローバル PlusONE 副専攻プログラムは学生の海外での活動について責任を負うものではありません。

### 2.3 「科目群 B, C, D」の履修方法

PlusONE オフィスへの申請等、特別な手続きは必要ありません。受講を希望する科目について、春学期と秋学期の履修登録期間中に他の科目と同様にウェブサイト（学務情報システム）から履修登録をしてください。

ただし、大学院生の場合は、履修登録期間中に、様式①「大学院生用履修申請書」を PlusONE オフィスに提出する必要があります。（学部の授業科目を履修することになるため、自分でウェブサイトから履修登録することはできません。）

開講される授業科目や時間割コードは年度ごとに異なります。今年度の情報については、p 10 の参考資料 1 で確認してください。

## 2. 4 「科目群E」（グローバルプロジェクト科目）について

グローバル PlusONE 副専攻プログラム委員会は、副専攻に登録した学生が、以下のような活動を行ったと認められる場合、相当する単位を認定します（いずれも、実践活動時間 30 時間につき 1 単位を目安とする）。

【表 5】「グローバルプロジェクト」で認定される「科目群 E」の科目と単位

科目名		単位数	各科目で求められる貢献の種類、 PlusONE オフィスへの提出が必要な書類
1)	(30時間の活動に適用) <b>グローバル・コラボレーション I</b>	1 単位	文化、国籍、専門性の境界を超えたメンバーからなるプロジェクトに参加し・共働することによって、チームに貢献したと認められる場合。 〈活動前〉様式④「活動計画書」 〈活動後〉 様式⑤「単位認定申請書」 貢献がわかる「活動報告書」、「活動日誌」等の資料
	(Iを超えた30時間の活動に適用) <b>グローバル・コラボレーション II</b>	1 単位	
	(IIを超えた30時間の活動に適用) <b>グローバル・コラボレーション III</b>	1 単位	
	(IIIを超えた30時間の活動に適用) <b>グローバル・コラボレーション IV</b>	1 単位	
2)	(30時間の活動に適用) <b>グローバル・アソシエイト I</b>	1 単位	文化、国籍、専門性の境界を超えたメンバーからなるプロジェクトにおいて、各メンバーの活動を調整し、リーダーを補佐することによって、チームに貢献したと認められる場合 〈活動前〉様式④「活動計画書」 〈活動後〉 様式⑤「単位認定申請書」 貢献がわかる「活動報告書」、「活動日誌」等の資料
	(Iを超えた30時間の活動に適用) <b>グローバル・アソシエイト II</b>	1 単位	
	(IIを超えた30時間の活動に適用) <b>グローバル・アソシエイト III</b>	1 単位	
	(IIIを超えた30時間の活動に適用) <b>グローバル・アソシエイト IV</b>	1 単位	
3)	(Iを超えた30時間の活動に適用) <b>グローバル・リーダーシップ I</b>	1 単位	創造的なビジョンと高い倫理観をもって、文化、国籍、専門性の境界を超えたメンバーからなるプロジェクトを牽引し主導したと認められる場合。 〈活動前〉様式④「活動計画書」 〈活動後〉 様式⑤「単位認定申請書」 貢献がわかる「活動報告書」、「活動日誌」等の資料
	(Iを超えた30時間の活動に適用) <b>グローバル・リーダーシップ II</b>	1 単位	
	(IIを超えた30時間の活動に適用) <b>グローバル・リーダーシップ III</b>	1 単位	
	(IIIを超えた30時間の活動に適用) <b>グローバル・リーダーシップ IV</b>	1 単位	

### 1. 「グローバル・コラボレーション」に相当する活動例

国際ワークキャンプ運営団体の企画した〇〇国におけるボランティア活動で、6 国籍の 8 名からなるチームで、8 日間、児童養護施設での教育補助、清掃などを行なった。メンバーは本人を含む 5 名が学生、2 名が会社員、1 名が自営業で、使用言語は英語だった。（グローバル・コラボレーション I、II）

### 2. 「グローバル・アソシエイト」に相当する活動例

学内の有志 8 名（4 学部、2 国籍）で、留学生と日本人学生の交流を目的とした一泊二日の宿泊イベントを立案・実施した。サブリーダーとして、リーダーとともに各スタッフに希望や得意な分野を



考慮した役割を与え、企画、会場の確保、ポスター作成、広報等の準備と、合宿でのプログラムの進行管理を分担して行なった。準備に費やした時間は延べ 12 時間。準備は日本語で行い、合宿中は英語を使った。(グローバル・アソシエイト I)

### 3. 「グローバル・リーダーシップ」に相当する活動例

大学生グローバルベンチャーコンテストを主催する実行委員会の委員長として、共済・後援・協賛企業等を選定する渉外班、ウェルカムパーティーとベンチャー企業経営者による指導会を担当するイベント班、予選、本線 & 表彰式を企画するコンテスト班の 3 班を統括した。3 カ月の準備期間中は週平均 7 時間を使い、週 1 回の全体ミーティングの司会を務める他、随時各班長とのコミュニケーションをとり準備の進行具合を管理した。(グローバル・リーダーシップ I、II、III)

## 3. 修了証書申請方法

### □修了証書申請方法

p 3 の【表 1】の 3 コースそれぞれについて要件を満たした時点で申請できます。単位を満たしながら 3 回申請すれば、3 種類の修了証書を取得することも可能です。(それぞれの申請に修得済みの同じ科目の単位を使うことができます。) また、学部と大学院にまたがって本副専攻プログラム科目の単位を修得した場合は、学部在籍時と進学後に修得した単位を合わせて申請できます。

- 申請は様式⑥「修了証書申請書」に必要事項を記入し、PlusONE オフィス(学務・国際戦略部グローバル推進課国際教育係、学生センター 2F)に申請します。
- 申請に基づき、各コースの修了要件を満たしているかを関係委員会が審査します。審査の結果、要件を満たしていると判断された場合には、国際戦略推進機構長から修了証書が授与され、成績証明書に副専攻名および修了コース名が記載されます。
- 申請は随時受け付けますが、**学期ごとの受付締切日**は以下のとおりで、それぞれ**9月末、3月末に修了証書が交付**されます。

**【当該学期卒業、修了見込者以外】8月の第3金曜日、2月の第3金曜日**

**【当該学期卒業、修了見込者】7月の第4金曜日、1月の第4金曜日<<厳守>>**

**※卒業、修了見込者は、最終学期に履修した科目を修了要件科目に含めることはできません**  
ので、それを前提に履修計画を立ててください。

## 4. 問い合わせ先

グローバル PlusONE 副専攻プログラムに係る問い合わせ先は以下のとおりです。

PlusONE オフィス（学生センター 2 F）

学務・国際戦略部グローバル推進課国際教育係

Email : plus1@ynu.ac.jp

Tel: 045-339-3186



## 参考資料 1. 2023 年度開講科目について

2023 年度の開講科目は以下のとおりです。開講学期、曜日、時限は変更される場合があります。最新の情報については、学務情報システムや掲示板等でご確認ください。

**科目群 A (海外実習・国際経験科目)** ※ 履修登録期間中の登録は出来ません。

単位が卒業単位になるか増加単位になるかは、学部・大学院により異なります。所属学部・大学院の学務担当係で確認してください。

時間割コード	期間	曜日	時限	科目名	科目区分・備考
9103901※	春	不定期	不定期	Practice in International Diplomacy I A	全学教育/ 教養教育科目
9103903※	春	不定期	不定期	Practice in International Diplomacy I B	全学教育/ 教養教育科目
9103905※	春	不定期	不定期	Practice in International Diplomacy II A	全学教育/ 教養教育科目
9103907※	春	不定期	不定期	Practice in International Diplomacy II B	全学教育/ 教養教育科目
9103902※	秋	不定期	不定期	Practice in International Diplomacy I A	全学教育/ 教養教育科目
9103904※	秋	不定期	不定期	Practice in International Diplomacy I B	全学教育/ 教養教育科目
9103906※	秋	不定期	不定期	Practice in International Diplomacy II A	全学教育/ 教養教育科目
9103908※	秋	不定期	不定期	Practice in International Diplomacy II B	全学教育/ 教養教育科目
9103909※	春	不定期	不定期	Transcultural Practice in Overseas I	全学教育/ 教養教育科目
9103911※	春	不定期	不定期	Transcultural Practice in Overseas II	全学教育/ 教養教育科目
9103910※	秋	不定期	不定期	Transcultural Practice in Overseas I	全学教育/ 教養教育科目
9103912※	秋	不定期	不定期	Transcultural Practice in Overseas II	全学教育/ 教養教育科目
9103913※	春	不定期	不定期	International Volunteer I	全学教育/ 教養教育科目
9103915※	春	不定期	不定期	International Volunteer II	全学教育/ 教養教育科目
9103914※	秋	不定期	不定期	International Volunteer I	全学教育/ 教養教育科目
9103916※	秋	不定期	不定期	International Volunteer II	全学教育/ 教養教育科目

## 科目群B（ICT&ビジネススキル科目）

時間割コード	期間	曜日	時限	科目名	科目区分・備考
9103102	春	火	3	Business Planning with Intellectual Property	全学教育/ 教養教育科目
9103111	春	木	2	Legal Systems of the World and Japan	全学教育/ 教養教育科目
9103101	秋	火	3	Plagiarism and its Regulations	全学教育/ 教養教育科目
9103112	秋	火	2	ICT Literacy 1	全学教育/ 教養教育科目

## 科目群C（コミュニケーション&コラボレーション科目）

時間割コード	期間	曜日	時限	科目名	科目区分・備考
-	-	-	-	Economic Development 【2023年度不開講】	全学教育/ 教養教育科目
9103105	春	金	2	Business Japanese Language and Culture A	全学教育/ 教養教育科目
9103109	春	金	3	Yokohama Studies	全学教育/ 教養教育科目
9103110	春	不定期	不定期	Yokohama Studies (Seminar)	全学教育/ 教養教育科目
9103113	春	月	1	Globalization and Regional Economic Integration	全学教育/ 教養教育科目
9103107	秋	金	3	Multiethnic Japan	全学教育/ 教養教育科目
9103108	秋	不定期	不定期	Multiethnic Japan (Seminar)	全学教育/ 教養教育科目
9103106	秋	金	2	Business Japanese Language and Culture B	全学教育/ 教養教育科目

## 科目群D（学部提供グローバル科目）

※学部名が書かれた科目はその学部では専門科目として扱われる可能性があります。また、単位が卒業単位になるか増加単位になるか等の詳細は所属学部の学務担当係で確認してください。

時間割コード	期間	曜日	時限	科目名	科目区分・備考
X2USM01	春	火	1	International Economics I	学部教育科目※ (経済学部)
X2USM02	秋	火	1	International Economics II	学部教育科目※ (経済学部)
X2USM03	春	水	2	International Political Economy	学部教育科目※ (経済学部)

X2USM04	秋	水	2	Principles of Economics	学部教育科目※ (経済学部)
X2USM05	第4	木	2,3	Comparative Economic Systems	学部教育科目※ (経済学部)
X2USM06	第5	木	2,3	Statistical Theory and Applications	学部教育科目※ (経済学部)
X3USM01	春	木	1	Basics of Business Accounting	学部教育科目※ (経営学部)
X3USM02	秋	木	1	Basics of Business Accounting	学部教育科目※ (経営学部)
X3USM03	秋	木	4	Japanese Production Management	学部教育科目※ (経営学部)
X3USM04	秋	月	5	Global Management in Asia	学部教育科目※ (経営学部)
X3USM05	秋	水	2	Technology Enabled Business	学部教育科目※ (経営学部)
3001717	秋	金	4	海外学修事前講習	学部教育科目※ (経営学部)
9103153	秋	金	4	Prospects of Mech Eng, Mater Sci and Ocean Eng	全学教育/ 教養教育科目
9103151	秋	木	4	Prospects of Chemistry, Chemical Eng & Life Sci	全学教育/ 教養教育科目
9103152	春	金	3	Prospects of Maths, Phys, Elec Eng & Comp Sci	全学教育/ 教養教育科目
X8UCC02	秋	火	2	Documentary Film-making and Ethnography	学部教育科目※ (都市科学部)
X8UCC03	秋	金	4	Urban Social Issues in Japan	学部教育科目※ (都市科学部)
X8UCC04	春	火	2	Cinema and Politics in Japanese Contexts	学部教育科目※ (都市科学部)
9103161	春	火	6	Prospects of Arch, Infstr, & Ecosystem Sci	全学教育/ 教養教育科目
X8UCC07	秋	火	4	Nuclear Issues Through the Translation of Hibakusha Accounts	YCCS 科目

**科目群 E (グローバルプロジェクト科目)** ※ 履修登録期間中の登録は出来ません。

時間割コード	期間	曜日	時限	科目名	科目区分・備考
X0LFS01※	春	不定期	不定期	グローバル・コラボレーション I	国際戦略推進機構
X0LFS02※	春	不定期	不定期	グローバル・コラボレーション II	国際戦略推進機構
X0LFS03※	春	不定期	不定期	グローバル・コラボレーション III	国際戦略推進機構

X0LFS04※	春	不定期	不定期	グローバル・コラボレーションⅣ	国際戦略推進機構
X0LFS05※	春	不定期	不定期	グローバル・アソシエイトⅠ	国際戦略推進機構
X0LFS06※	春	不定期	不定期	グローバル・アソシエイトⅡ	国際戦略推進機構
X0LFS07※	春	不定期	不定期	グローバル・アソシエイトⅢ	国際戦略推進機構
X0LFS08※	春	不定期	不定期	グローバル・アソシエイトⅣ	国際戦略推進機構
X0LFS09※	春	不定期	不定期	グローバル・リーダーシップⅠ	国際戦略推進機構
X0LFS10※	春	不定期	不定期	グローバル・リーダーシップⅡ	国際戦略推進機構
X0LFS11※	春	不定期	不定期	グローバル・リーダーシップⅢ	国際戦略推進機構
X0LFS12※	春	不定期	不定期	グローバル・リーダーシップⅣ	国際戦略推進機構
X0LFS13※	秋	不定期	不定期	グローバル・コラボレーションⅠ	国際戦略推進機構
X0LFS14※	秋	不定期	不定期	グローバル・コラボレーションⅡ	国際戦略推進機構
X0LFS15※	秋	不定期	不定期	グローバル・コラボレーションⅢ	国際戦略推進機構
X0LFS16※	秋	不定期	不定期	グローバル・コラボレーションⅣ	国際戦略推進機構
X0LFS17※	秋	不定期	不定期	グローバル・アソシエイトⅠ	国際戦略推進機構
X0LFS18※	秋	不定期	不定期	グローバル・アソシエイトⅡ	国際戦略推進機構
X0LFS19※	秋	不定期	不定期	グローバル・アソシエイトⅢ	国際戦略推進機構
X0LFS20※	秋	不定期	不定期	グローバル・アソシエイトⅣ	国際戦略推進機構
X0LFS21※	秋	不定期	不定期	グローバル・リーダーシップⅠ	国際戦略推進機構
X0LFS22※	秋	不定期	不定期	グローバル・リーダーシップⅡ	国際戦略推進機構
X0LFS23※	秋	不定期	不定期	グローバル・リーダーシップⅢ	国際戦略推進機構
X0LFS24※	秋	不定期	不定期	グローバル・リーダーシップⅣ	国際戦略推進機構

## 参考資料 2.

### 様式①大学院生用履修申請書

※ 2022年度以降入学者の申請はできません。

令和 年 月 日

グローバルPlus ONE副専攻プログラム  
委員会委員長 殿

### 履 修 申 請 書

グローバルPlus ONE副専攻プログラムの科目となっている教養教育科目・国際交流科目を履修したく、以下のとおり申請いたします。

学生氏名		学籍番号		
研究科・学府		専攻		
メールアドレス				
番号	科目名	時間割コード	学期・曜限	担当教員
1				
2				
3				
4				
5				

所属大学院学務担当係 御中

貴大学院所属の学生から、グローバルPlus ONE副専攻プログラムの修了要件を得るために、学部授業科目について履修申請の届け出がありましたので、履修登録いただきますようお願いいたします。

令和 年 月 日

グローバルPlus ONE副専攻プログラム

委員会委員長

Plus ONEオフィス 受付： 月 日	所属部局学務担当係 受付： 月 日
-------------------------	----------------------

様式②「科目群 A」単位修得計画書（申請を希望する 1 科目ごとに 1 枚申請してください）

※ 2022 年度以降入学者の申請はできません。

令和 年 月 日

グローバルPlus ONE副専攻プログラム

委員会委員長 殿

「科目群A」を利用した単位修得計画書

海外での学修について、グローバルPlus ONE副専攻プログラムの「科目群A」に該当するものとして、単位修得計画書を以下のとおり提出します。

なお、所属学部・大学院には、海外渡航届を提出していることを申し添えます。

氏名	学籍番号
学部・大学院	学科・専攻
メールアドレス	
科目の区分： a. 民間外交実習、b. 海外異文化実習、c. 国際ボランティア	
学修計画の概要	
【重要！】活動概要・実施計画、実施体制がわかるパンフレットなど、学修内容や学修時間が分かる資料を添付してください。	
使用言語： 英語 ・ 中国語 ・ 韓国語 ・ その他（                      語 ）	
学修機関名：	
学修予定時間数：                      時間（詳細は別に添付すること）	



様式③「科目群 A」単位認定申請書（申請を希望する 1 科目ごとに 1 枚申請してください）

※ 2022 年度以降入学者の申請はできません。

令和 年 月 日

グローバルPlus ONE副専攻プログラム  
委員会委員長 殿

「科目群A」単位認定申請書

海外での学修について、グローバルPlus ONE副専攻プログラムの「科目群A」に該当するものとして、  
単位認定申請書を以下のとおり提出します。

氏名	学籍番号
学部・大学院	学科・専攻
メールアドレス	
科目の種類：	<ol style="list-style-type: none"><li>所属学部・大学院で認定された科目 ※所属学部・大学院が発行する単位認定書の写しを添付すること。 (科目名： )</li><li>所属学部・大学院が開講する科目 ※海外での学修を証明できる資料を添付すること。 (科目名： )</li><li>海外で単位を修得した科目 ※単位修得証明書および学修内容・学修時間が分かる資料を添付すること。 (科目名： )</li><li>単位が出ない海外での学修 (a. 民間外交実習 b. 海外異文化実習 c. 国際ボランティア)</li></ol>
【3.または4.の場合は以下も記入してください。】	
学修内容	
【重要！】現地活動報告、成果物・記録写真、指導教員・担当教員の評価や評価報告など、 学修内容や学修時間が分かる資料を添付してください。	
使用言語： 英語 ・ 中国語 ・ 韓国語 ・ その他（ 語 ）	
学修機関名：	
学修時間数： 時間（詳細は別に添付すること）	

## 様式④「科目群 E」単位修得計画書

※ 2022年度以降入学者の申請はできません。

令和 年 月 日

グローバルPlus ONE副専攻プログラム  
委員会委員長 殿

### 「科目群 E」を利用した単位修得計画書

グローバル・プロジェクト活動について、グローバルPlus ONE副専攻プログラムの「科目群 E」に該当するものとして、単位修得計画書を以下のとおり提出します。

氏名	学籍番号
学部・大学院	学科・専攻
メールアドレス	
科目の区分： a. グローバル・コラボレーション <input type="checkbox"/> I <input type="checkbox"/> II <input type="checkbox"/> III <input type="checkbox"/> IV b. グローバル・アソシエイト <input type="checkbox"/> I <input type="checkbox"/> II <input type="checkbox"/> III <input type="checkbox"/> IV c. グローバルリーダーシップ <input type="checkbox"/> I <input type="checkbox"/> II <input type="checkbox"/> III <input type="checkbox"/> IV	
学修計画の概要	
【重要！】活動概要・実施計画、実施体制がわかるパンフレットなど、活動内容や活動時間が分かる資料を添付してください。	
活動組織名：	
活動予定時間数： 時間（詳細は別に添付すること）	

# 様式⑤「科目群 E」単位認定申請書

※ 2022年度以降入学者の申請はできません。

令和 年 月 日

グローバルPlus ONE副専攻プログラム  
委員会委員長 殿

## 「科目群 E」を利用した単位認定申請書

グローバル・プロジェクト活動について、グローバルPlus ONE副専攻プログラムの「科目群 E」に該当するものとして、単位認定申請書を以下のとおり提出します。

氏名	学籍番号
学部・大学院	学科・専攻
メールアドレス	
科目の区分： a. グローバル・コラボレーション <input type="checkbox"/> I <input type="checkbox"/> II <input type="checkbox"/> III <input type="checkbox"/> IV b. グローバル・アソシエイト <input type="checkbox"/> I <input type="checkbox"/> II <input type="checkbox"/> III <input type="checkbox"/> IV c. グローバルリーダーシップ <input type="checkbox"/> I <input type="checkbox"/> II <input type="checkbox"/> III <input type="checkbox"/> IV	
活動の概要	
【重要！】活動報告書を、活動概要・、実施体制がわかるパンフレットなど、活動内容や活動時間が分かる資料と一緒に提出してください。	
活動組織名：	
活動時間数： 時間（詳細は別に添付すること）	

様式⑥修了証書申請書

※ 2022年度以降入学者の申請はできません。

令和 年 月 日

グローバルPlus ONE副専攻プログラム  
委員会委員長 殿

修了証書申請書

私は、グローバルPLUS ONE副専攻プログラムにおいて、所定の単位を満たしたので、以下のとおり修了証書を申請します。

氏名	学籍番号	
学部・大学院	学科・専攻	
メールアドレス	申請コース	
科目区分	科目名・単位数 (下記に科目名・単位数を記入してください。)	
科目群 A	1 単位数：	2 単位数：
	3 単位数：	4 単位数：
科目群 B	1 単位数：	2 単位数：
	3 単位数：	4 単位数：
科目群 C	1 単位数：	2 単位数：
	3 単位数：	4 単位数：
科目群 D	1 単位数：	2 単位数：
	3 単位数：	4 単位数：
科目群 E	1 単位数：	2 単位数：
	3 単位数：	4 単位数：

※成績証明書を添付すること。

備考

- ・申請したコースの修了要件を満たしているかを副専攻プログラム委員会で審査します。満たしている場合には、修了証書が授与され、成績証明書に副専攻名が記載されます。
- ・申請は随時受け付けますが、**8月の第3金曜日、2月の第3金曜日を受付締切日**（ただし卒業、修了見込者は**7月の第4金曜日・1月の第4金曜日**）とし、それぞれ**9月末、3月末に修了証書が交付**されます。